

NEWS RELEASE
各位

取材依頼

2024年9月30日

ニッポンハム食の未来財団 2023年度研究助成事業の成果報告会を対面開催

開催日：10月8日(火)13:30～ 会場：AP品川アネックス1階

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団(事務所:茨城県つくば市、理事長：井手 弘)は10月8日(火)、2023年度に実施した研究助成事業の成果報告会を開催いたします。

本研究助成は、当財団の主要事業の一つで、対象領域を「食物アレルギー」に特化しているのが最大の特徴です。有症率が年々増えているにも関わらず、根本的な治療法や予防法などが確立されていない現状を打開すること目指しています。

本報告会は、2023年度中に行われた助成研究に関するもので、第一部は16名の若手研究者から、第二部は6組の共同研究チームから最新の研究成果を発表いただきます。当財団はその問題の複雑さゆえに、「食物アレルギー」の解決には異分野(例、医学と食品)や幅広い世代による協働が不可欠と考えています。よって、本報告会は研究成果の普及はもちろん、問題解決にあたる様々な立場の有志が一堂に会し、問題解決に向けた交流と議論を深める場として企画しています。

開催概要 (プログラムは次ページ以降に記載)

■日時

2024年10月8日(火)

〈第一部〉個人研究助成 ポスター報告会 13時30分～14時30分

〈第二部〉共同研究助成 口頭成果報告会 15時00分～17時30分

〈第三部〉学術交流会 17時40分～19時15分

■会場

・AP品川アネックス(東京都港区高輪3-23-17)

■内容

・2023年度研究助成事業採択者によるポスター発表(16課題)
及び口頭報告(6課題)

・過年度の研究成果品の試食(右の写真)

■出席予定者

発表者(2023年度研究助成事業 共同・個人研究採択者)、
過去の採択者、当財団関係者(評議員、監事、理事、事務局等)、
研究助成審査委員、事前に申し込みのあった方、報道関係者等



休憩時に「しまね夢こむぎ®※」で作った「パウンドケーキ」と「クッキー」を試食配布。
ぜひ、研究成果を体感ください。

※森田栄伸先生(島根大学名誉教授)の研究グループが開発したω-5グリアジン欠損食用小麦。主要なターゲットは大人の小麦依存性運動誘発アナフィラキシー。当財団は3年間助成を実施。

取材申し込み(締め切り：10月4日(金)17時)

ご取材いただける場合は、下のURLまたは二次元バーコードより申し込みをお願いします。

<https://forms.office.com/r/ZKSNYg9X5w>



※リリースに関しての問い合わせ先

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 小泉・柄澤まで
TEL 029-893-4466 FAX 029-893-4360
info@miraizaidan.or.jp

日 時 : 2024年10月8日(火) 13時30分～14時30分

場 所 : AP品川アネックス地下1階 Iルーム

発 表 者 : 2023年度研究助成事業 個人研究採択者

コアタイム※: 偶数演題番号13時30分～14時00分、奇数演題番号14時00分から14時30分

※発表者がポスター前で研究内容を発表、質疑応答する時間

演題 番号	氏名	所属機関	課題名
01	赤川 翔平	関西医科大学 医学部 小児科学講座 講師	小児鶏卵アレルギー患者における腸内細菌叢解析を用いた耐性獲得予測
02	井原 聡三郎	東京大学医学部附属病院 消化器内科 助教	樹状細胞のTGF- β シグナルによる食物アレルギーの制御機構
03	門脇 紗織	岐阜大学医学部附属病院 小児科 医員	食物アレルギー診断およびメカニズム解析を目的とした IgE 依存性即時型アレルギーに関する試験管内診断法の確立
04	川上 竜司	京都大学医生物学研究所 特定助教	食物アレルギーを予防する長期安定型-制御性 T 細胞の分化・維持メカニズム
05	高里 良宏	あいち小児保健医療総合センター 医長	新生児・乳児消化管アレルギーと腸内菌叢(細菌+真菌)の関連
06	田中 孝之	京都大学大学院医学研究科 客員研究員	鶏卵アレルギー小児の長期的観察による食物アレルギー寛容誘導機序の解明
07	内藤 宙大	名古屋学芸大学 助手	リン酸化ペプチドによるカゼインのエピトープ解析
08	長竹 貴広	明治大学 専任准教授	オメガ3 脂肪酸代謝物 17,18-エポキシエイコサテトラエン酸による食物アレルギー抑制機構の解明
09	野村 孝泰	名古屋市立大学大学院 医学研究科 新生児・小児医学 講師	胃食道逆流に注目した牛乳アレルギーモデルマウスの免疫機序の解明
10	牧田 英士	自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科 講師	固形食物による消化管アレルギーの診断と予後予測におけるバイオマーカーの研究
11	松岡 諒	国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 共同研究員	新生児・乳児早期に発症する消化管アレルギーの病態解明
12	松田 将也	摂南大学 薬学部 特任助教	デザイナー細胞外小胞を用いた食物アレルギーの予防・治療法の創出
13	山本 健	千葉大学医学部附属病院 小児科 助教	小児牛乳アレルギー患者における重症化メカニズム解明とビタミンD併用による新規経口免疫療法の開発
14	横大路 智治	広島大学大学院 医科学研究所(薬) 准教授	ω 5-グリアジン欠失 1BS-18 小麦系統の生体内での低アレルギー性の検証
15	吉川 倫太郎	島根大学医学部 助教	間葉系幹細胞による食物アレルギー予防効果の検討
16	中野 泰至	千葉大学医学部附属病院 小児科 助教	母乳中 micro RNA が食物アレルギー発症に及ぼす影響

日 時 : 2024年10月8日(火) 15時00分～17時30分
場 所 : AP品川アネックス1階 A+Bルーム
発 表 者 : 2023年度研究助成事業 共同研究採択者

15:00 開会挨拶

15:10～15:30 食物アレルギーに関わる神経-免疫系の機序解明と軽減手法確立への挑戦
安部 力
岐阜大学大学院医学系研究科 准教授

15:30～15:50 可溶型ST2に着目した食物アレルギーの病態解明と予防・治療法開発
北浦 次郎
順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター 先任准教授

15:50～16:10 好酸球性消化管疾患、慢性炎症の原因特定のための
食物負荷試験標準化に関する研究
野村 伊知郎
国立成育医療研究センター研究所 好酸球性消化管疾患研究室 室長

16:10～16:25 (休憩15分;「しまね夢こむぎ®」で作った焼き菓子を試食)

16:25～16:45 モデルマウスを用いた花粉-食物アレルギー症候群における
アレルギー免疫治療の確立と機序解明
藤枝 重治
福井大学学術研究院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授

16:45～17:05 経胎盤感作の分子機構の解明:
ヒト胎盤由来絨毛細胞を用いた食物抗原の透過性の検討
松本 健治
国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 部長

17:05～17:25 唾液の次世代プロテオーム解析による、
非侵襲的な食物蛋白誘発胃腸炎の診断・症状誘発予測マーカーの開発
井上 祐三朗
千葉大学大学院医学研究院 総合医科学 特任講師

17:25 閉会挨拶

17:30 写真撮影

17:40～19:15 《第三部 学術交流会》

※敬称略

【報告資料(両部共通)のWeb公開】

https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2022/02_event.html

※9月30日(月)10時より報告要旨を公開いたします。

